

第四中学校区地域教育懇談会

いじめ問題を考えるつどい＜次第＞

テーマ：「いじめをしない、させない、許さないために」

15:00 ※児童・生徒はA、Bのグループに分かれて着席

※地域教育懇談会参加者は所定の場所に着席

1. 開会のことば（四中地域懇会長）

2. グループごとの話し合い開始

※以下のグループごとの司会進行と最後の報告者は中学生が担当

(1) 自己紹介

・学校名、学年、名前の他に得意なことや好きなことなど

(2) 各学校で考えてきたことを一人一人発表する。

・いじめをしない、させない、許さないためについて、自分や自分の学級で話し合ってきたことを報告する。
・その他

(3) 自由討論する

各学級で話し合ってきたことを深める。

- *いじめをしないために
- *いじめをさせないために
- *いじめを許さないために

(4) 周りの大人（親、先生、地域などに）にしてほしいこと

(5) 今日の話し合いの感想を一人一人が述べる。

15:45 グループごとの話し合い終了

3全体発表

グループで話し合ったことを報告する（A→Bで各2～3分）

4閉会のことば（四中地域懇役員）

16:00 児童・生徒下校

15:45 地域教育懇談会開始

当日の内容について

第2学年通信「Step UP!」より抜粋

「いじめをしない、させない、許さないために」というテーマで2つのグループで話し合いました。四中生が司会進行として各グループをリードしていました。自己紹介後には、いじめについて各学校で話し合ったことを各自発表し、その後は自由討論となりました。

自由討論では、「いじめをしないかと誘われたらどうするか」「もしいじめられたら、いじめている人をどう思うか」「いじめられている人を見たらどう



するか」「周りの大人、先生や地

域の人々にしてほしいことは何か」「いじめの原点は何か」などをテーマに討論していました。

各グループの話し合いのまとめとしては、相手の立場を考え、見つけたら勇気を出して注意し、人の良いところを見つけ、一人ひとりがいじめは悪いものであることを理解して、いじめをなくしていこうということでした。

いじめの原点については、その人のことをよく知らないことから始まるのだという意見がありました。

周りの大人にしてほしいことについては、話し合いの時間やみんなで楽しく過ごせる時間を作って欲しいこと、いじめられていることに大人から気づいて欲しいこと、ちゃんと話を聞いて欲しいこと、相談できる場所を作って欲しいことなどでした。「四中を発信源として目黒区や全国からいじめがなくなるように祈りましょう。」これは、2年生のある生徒のまとめの言葉です。たとえ一人ひとりの力は小さくても、みんなで力を合わせれば何かが変わるのだと信じます。これからも、いじめをなくすために、みんなで力を合わせていきましょう。



第1学年「エール」より抜粋

ご家庭でもいじめ問題の解決につながる取り組みを！ご協力お願いいたします。

ポイント1【家庭での教育が最も大切】

善悪の判断や正義感、他人への思いやりや弱いものを助ける勇気などを子どもに身につけさせるために、家庭は重要な役割を果たしています。

ポイント2【真に安らげる「心の居場所」に】

家庭は深い愛情と信頼で結ばれ、安らぐことのできる場所です。今一度、子どもを温かく見守り、十分に目を配ってください。そしてすべての保護者が他人事だと思わずに、いじめ

は自分の子どもにも起こり得るとの認識をお持ちください。

ポイント3【学校と手を携えて】

学校はいじめの生徒に対する適切な教育的指導や、いじめられる生徒への対応などを中心に、積極的な取り組みを実行してゆきます。家庭も学校と手を携えていじめ問題に取り組んでいきましょう。
(文部科学省・児童生徒の問題行動に関する調査研究協力者会議より抜粋)

地域教育連絡会 大人の意見交換会

<Aグループまとめ>

- ・大人側も考えて、リードしてあげたい。
- ・大人がお手本となるよう、親も噂話には気をつけないといけない。
- ・児童館には子どもたちの意見を集める箱があり、住区にも「黒目ちゃん」という箱を置いている。
- ・子供たちの事情をくみ、察知して発信源になっていかなければとおもった。
- ・今の子がどんなことを感じているかを知る機会になったので、他の方々にもこの会を宣伝できたらよい。

<Bグループまとめ>

- ・このような、子供の話が聞ける会は新鮮だった。
- ・地域の方が見守ってくれていることがわかり良かった。
- ・悪口がいじめにつながる。子供がクラスメートや友達に悪口を言わないように、大人が吸収してあげるべき。
- ・こどもと母との時間を作ることが大事。

<全体会のまとめ>

- ・第四中学校長 教員がアドバイスしないで、自分たちでその場で意見が出せるよう設定した。いじめの早期発見、早期対策を講じたい。
- ・油面小学校長 いじめはなくならないけれど減らせることに気付けた機会だと思う。担任だけでなく、小学校には専科担当教諭やスクールカウンセラーを配置して、いじめへの変化に気付ける体制がある。
- ・不動小学校長 小学生の体験として、議場での話し合いも良かったが、今回のように子供の参加者増えたのはメリットであり、子供の意見や事例から学ぶことも多かった。①話をそっと聞克的確な大人の判断 ②ふざけを止める ③心はお互い持っているという意識